

Pick up イベント

メディカル・カフェ 「医療者を信頼できるか」

日時：3月13日（土）13:00～15:00

場所：コーヒーショップ JUN

話題提供+進行：中岡成文

メディカル・カフェは、医療や福祉現場の具体的な事例を検討する場でもなければ、何らかの問題をみんなで解決する場でもない。もちろん、医療相談でもカウンセリングでもなく、医療・福祉にまつわるテーマについて自由に対話をする場である。

3月13日に行なった「メディカル・カフェ」のテーマは「医療者を信頼できるか」。話題提供者+進行役は大阪大学教授（臨床哲学）の中岡成文さん。まず話題提供者である中岡さんが医者の息子として、外科医であった父に対して不信感を抱いた体験を話し、その後参加者一人一人が自己紹介を兼ねて「医療者を信頼できるか、できないか」、どのような体験からそう思うかについて話すことから始まった。参加者は、患者や医療・福祉従事者、それ以外の人も含め、総勢21名ということで、前半は、参加者が自らの体験を語ることで終わった。立場によって「信頼」に対する問題意識も体験の次元も異なるため、議論の切り口が見えないまま後半に突入したが、中岡さんがそれぞれの話の中でわかりにくいところを問い合わせし、疑問点を参加者全員で確認していくという作業をていねいに行なったので、単なる言いつ放しで終わる

ことなく、問題を吟味していく作業も合わせて行なうことができた。今回は、参加者が多いこともあって、後半の議論のテーマを十分に絞ることができなかったが、切り口となりそうなテーマをいくつか挙げておきたい。「信頼と信用とは同じか異なるか」「信頼（あるいは信頼のなさ）はどこからくるのか」「信頼の危うさ」「信頼できる医療の提供に必要なものは何か」等である。要は、「人と人との信頼関係は何が前提となるのか」という議論をしていたのでは、というのが私の感想である。

（報告：藤本啓子）

【メディカル・カフェ】

「メディカル・カフェ」は、もともとは生老病死にまつわるテーマを扱った書籍を用いて行なう「書評カフェ」として2005年秋に始まりました。「メディカル・カフェ」と名を改めたのは、特に書籍を使わなくても、医療・福祉にまつわるテーマについて対話ができるようにとの思いからでした。次回は5月30日に神戸のカフェP/Sで開催します。

2010年度より、役員が新体制に移行しました！

代表：高橋綾

副代表：本間直樹、樋本直樹

監査：西川勝

<事務局>

事務局長：樋本直樹

会計：中川雅道

広報：桑原英之、松川絵里、井尻貴子

●新代表より

本年度からカフェフィロの代表を務めさせていただることになりました、高橋です。

2010年度は、われわれが日本で哲学カフェを始めてから10年目、カフェフィロが出来てから5年目となる記念すべき年です。みなさんが「哲学とともに生きることをサポートするため、今後もますますいろいろな活動を展開したいと思いまますので、どうぞよろしくお願いします。



*新体制への移行に伴い、事務局も移転いたしました。

新住所：〒537-0023 大阪市東成区玉津3丁目8-6 ロイヤル丸文II 406号室
たまてばこ内 カフェフィロ事務局

「哲学への権利」上映

+ 討論 「哲学と社会の対話」

日時：二月五日（金）

場所：アートエリアB1

西山雄二・中村征樹・本間直樹

「国際哲学コレージュ」は、一九八三年ジャック・デリダら学者がパリに創設した研究教育機関。現代フランス哲学の研究者、西山雄二さんは、自身の映像インタビューによってその活動理念を印象深く描き出している。すでに二〇〇四年に他界したデリダ本人は登場しないものの、彼からの影響をさまざまに受けた人たちのインタビューから、観客はマルクスならぬ「デリダの亡靈たち」の声を聞くだろう。

デリダを筆頭に気鋭の学者・研究者がディレクターに名を連ねるこの機関は、大学のオルタナティヴとして注目すべき活動を展開してきた。哲学カフェとともに等距離を保つスタンスは、私たちに多くの示唆を与えてくれる。なかでも「包摶」と「隣接」の二つは、中之島での私たちの活動にとって欠かすことのできない哲学の理念となるにちがない。

決して一般向きの内容ではなかったにもかかわらず、一〇〇名を超える人が集まり、上映後の討論会でもさまざまな感想が発せられた。西山さんも、発言した参加者に「おつちやんと呼んでいいですか?」と声をかけるなど、とても気さくな人柄を垣間見ていた。この場は、「哲学への権利」を十分に実現しえただろうか?

この権利を文字通りすべての人に開くのならば、哲学は形式・純粹主義を捨て、雑種・無形性を肯定し、おのがいまだ知らないものに変貌しなければならない。哲学に反対するものを承認する力のなかにこそ、その原動

力が見いだされるのだろう。西山さんは、映像制作・上映・討論を通して、まさしくこのことを現実のものにしていたといえる。映像表現に踏み出し、各地での連続上映会と討論会をもつた彼の勇気に最大限の讃辞を送りたい。

報告：本間直樹（中之島哲学コレージュ・ディネータ／カフェフィロ）

【中之島哲学コレージュ 二月～三月】

二月五日 特別共同企画「哲学への権利」

上映+討論「哲学と社会の対話」

西山雄二・中村征樹・本間直樹

二月二六日 哲学カフェ

「社会人基礎力は大学で学べるか？」

三浦隆宏

三月五日 シネマ哲学カフェ『精神』 橋本亮

哲学カフェ

「対話力を鍛える／批判する」

岡辺裕美・深田千晃

三月十七日

シネマ哲学カフェ『改心』 シネ・ヌーヴォー 中川雅道

西山雄二・中村征樹・本間直樹



「上映後の討論会の様子。「哲学への権利：国際哲学コレージュの軌跡」監督の西山雄二さん（右）と、進行をつとめてくださった大阪大学の中村征樹さん（左）。」

2010年2月～3月活動一覧

- 2月14日 シネマ哲学カフェ『アデュー・フィリピーヌ』 シネ・ヌーヴォー 中川雅道
- 2月16日 哲学カフェ「哲学って何？」 神戸市北区子育て支援センター 松川絵里
- 2月19日 オレンジカフェ：問答法にチャレンジする 大阪大学 CSCD オレンジショップ 高橋綾・松川絵里
- 2月26日 哲学カフェ「社会人基礎力は大学で学べるか？」 アートエリアB1 三浦隆宏
- 2月28日 哲学カフェ「幸せ」 クロスロードカフェ 楠本瑠子
- 3月13日 哲学カフェ「偽善は悪いことか？」 Klein Blue 寺田俊郎
- 3月13日 メディカルカフェ「医療者を信頼できるか」 コーヒーショップ JUN 中岡成文
- 3月14日 シネマ哲学カフェ『ムアラフ 改心』 シネ・ヌーヴォー 中川雅道
- 3月17日 哲学カフェ「対話力を鍛える／批判する」 アートエリアB1 岡辺裕美・深田千晃
- 3月20日 哲学カフェ「『居場所』とは？」 とよなか国際交流センター 服部佐和子
- 3月21日 哲学カフェ「経験から学ぶとは？」 コーヒーショップ JUN 横本直樹
- 3月26日 哲学カフェ「人はなぜ生きづらさを感じるのか？」 神戸市北区子育て支援センター 松川絵里
- 3月28日 哲学カフェ「『がんばる』とは何か？」 クロスロードカフェ 松川絵里

賛助会員 募集中！

カフェフィロでは、カフェフィロの活動に賛同し協力してくださる賛助会員（年会費3,000円）を募集しています。
会員の方には、『哲学喫茶』最新号と、『哲学喫茶 瓦版』（隔月発行）をお送りします。詳しくinfo@cafephilo.jpまで。

CAFÉ PHILO（カフェフィロ）

2005年、大阪大学・臨床哲学研究室のメンバーを中心に発足、哲学カフェ、哲学対話セミナー（こども／大人対象）など、哲学の対話を促進する活動を展開中。

〒537-0023 大阪市東成区玉津3丁目8-6ロイヤル丸文II 406号室 たまてばこ内

e-mail : info@cafephilo.jp http://www.cafephilo.jp

哲学喫茶瓦版 2010年4月25日発行

発行人：高橋綾 編集・デザイン：井尻貴子・松川絵里

